

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年11月24日更新

事務事業名	生活管理指導員派遣事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 米澤伸仁
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進		所属課	高齢者支援課	担当者名 樋口良平
	施策の柱	49	高齢者の介護予防の充実		所属班	包括支援センター班 (内線)	2143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	介護保険法合志市高齢者生活管理指導事業実施要綱
	介護	11	1	2	10472 他		成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○社会適応が困難な高齢者に対して、日常生活に対する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防する。日常生活・家事・対人関係構築のための支援・指導及び関係機関との連絡調整。平成12年度より、地域支え合い事業として開始されたが当初は軽度ホームヘルパーとの事業が平行して実施されていたが、合併に伴いこの事業に統一された。 ○平成25年度から特別養護老人ホームに短期間入所をさせ、日常生活指導及び支援を行い、要介護状態にならないように予防する生活管理指導短期宿泊事業と事業統合を図った。 ○平成28年度から開始する介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型サービスA」に移行していくことになっている。
【業務の流れ】	高齢者生活管理指導事業申請書が提出されたら、包括支援センターの社会福祉士に調査依頼。調査後、ケア会議にて利用の可否を決定する。決定後は本人及び委託業者に決定通知及び基本情報を出す。事業は社会福祉協議会に委託。短期宿泊については、(社福)山紫会に委託。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	支援内容がヘルパーにより異なるという意見がある。支援内容が介護保険制度と近いので、現行の単価契約額の引き上げ等を検討してほしいとの意見が、委託事業所からあった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
社会福祉協議会が社会適応困難な高齢者に対して、日常生活の指導、支援事業に対する委託料。	社会適応困難な高齢者に対して、日常生活の指導、支援を行い、委託先に委託料を支払う。平成25年度生活管理指導短期宿泊事業と事業統合により、特別養護老人ホームに入所させて、日常生活の指導・支援を行い、委託先に委託料を支払う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア	総合事業訪問Aに開始により、順次移行するため。
→ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
社会適応が困難な高齢者及び対人関係が構築できない高齢者	→ ア
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
日常生活・家事が普通どおりに行えるようになる	→ ア
	→ イ
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
意図が日常生活・家事が普通どおりに行えるようになることから、事業を利用した高齢者数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア									
	イ									
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア									
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	289	380	796	468			
		都道府県支出金	千円	144	190	398	234			
		地方債	千円							
		その他	千円	578	759	1,588	936			
		繰入金	千円			398				
	人 件 費	一般財源	千円	145	190		234			
		(A) 事業費計	千円	1,156	1,519	3,180	1,872	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	2	2	2	0	0	0
延べ業務時間	時間	180	190	190	210	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	717	0	756	779	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,873	1,519	3,936	2,651	0	0	0		

事務事業名	生活管理指導員派遣事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に順次移行する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）に移行する。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					